

平成 24 年度医学部 4 年  
救急・災害医学期末試験問題

2012.7.9

学籍番号は左詰めで記入・マークせよ  
各設問に解答を一つマークせよ

**問題 1. 駅の構内で中年男が倒れているのを発見した。まず行うのはどれか。**

- ① 脈の蝕知
- ② 呼吸の確認
- ③ 気道の確保
- ④ 意識状態の確認
- ⑤ 対光反射の確認

**問題 2. 一次救命処置の胸骨圧迫の回数で適切なのはどれか。**

- ① 10 回／分
- ② 20 回／分
- ③ 60 回／分
- ④ 80 回／分
- ⑤ 110 回／分

**問題 3. 心肺蘇生時の人工呼吸で間違っているのはどれか。**

- ① 吹き込みは 1 分間に 10 回程度である。
- ② 胸が軽く上がるのが分かる程度の吹き込みで行う。
- ③ 人工呼吸の 1 回換気量は 6～7ml/kg（体重）である。
- ④ 循環のある小児・乳児に対しては 1 分間に 12～20 回を目安とする。
- ⑤ 気管挿管している患者でも可能なら胸骨圧迫と人工呼吸の比率は 30:2 が望ましい。

**問題 4. AED について正しいものはどれか？**

- ① 上室性頻拍の治療に用いる
- ② 到着したら、すぐに電源をいれる
- ③ 心電図解析・充電中は胸骨圧迫を継続する
- ④ 電極パッドは成人用・小児用・乳児用の 3 種類がある
- ⑤ 除細動終了後はパッドを除去し、救急隊（医師）へ引き継ぐ

**問題 5. 野球をしていて打球が中学性の投手の胸を直撃し昏倒した。適切なものはどれか。**

- ① 心室細動が起きている可能性がある。
- ② 高度のブロックが起きている可能性がある。
- ③ 中学生なので心臓しんとうはまれである。
- ④ AED はいつも有効である。
- ⑤ 胸骨圧迫は禁忌である。

問題 6. AED の操作順に関する文章で正しいのはどれか。

1. 器械の指示に従い放電ボタンを押す
2. 電源ボタンを押す
3. 電極パットを貼る
4. 器械が自動的に解析を始める
5. 適応があれば自動的に充電される

- ① 3⇒2⇒4⇒1⇒5      ② 2⇒3⇒4⇒5⇒1      ③ 3⇒2⇒4⇒5⇒1  
④ 3⇒2⇒5⇒4⇒1      ⑤ 2⇒3⇒5⇒4⇒1

問題 7. 以下の中で心停止の波形でないものはどれか。

- a 心室細動
- b 無脈性心室頻拍
- c 無脈性電気活動
- d 発作性上室性頻拍
- e III度房室ブロック

- ① a, b    ② a, e    ③ b, c    ④ c, d    ⑤ d, e

問題 8. 心肺蘇生時に使用される治療の文章で間違っているのはどれか。

- ① 二次救命処置の中で最も有効な治療は心室細動に対する除細動である。
- ② 心停止症例に対するバソプレッシンを投与は 40 単位 3 回である。
- ③ 心停止の患者にはアドレナリン 1mg を 3~4 分毎に使用する。
- ④ アミオダロンは電氣的除細動が無効であった症例に対して静脈投与する。
- ⑤ 心拍再開した心室細動や無脈性心室頻拍症例に対する軽度低体温療法は神経学的予後改善に寄与する。

問題 9. 二次救命処置における一般的な原因検索の疾患に含まれないものはどれか。

- ① 低酸素血症
- ② 低血糖
- ③ 低体温
- ④ 低Ca血症
- ⑤ 循環血液量低下

**問題 10. 傷病者の搬送方法について正しいものを1つ選べ**

- ① 患者を搬送する際は頭部を前にして運ぶ。
- ② 意識が清明な患者では頸椎固定の適応はない。
- ③ バックボード固定された患者の解除は頭部から行う。
- ④ ログロールの際は肩を保持するものが指示を出す。
- ⑤ 危機的な現場からの退避においても脊柱固定は必須である。

**問題 11. PTD(preventable trauma death)に関して誤りを選びなさい**

- ① PTD とは適切な対応をとっても死を回避できなかった症例を表す。
- ② 日本では 1980 年代までの PTD は把握されていなかった。
- ③ 日本の PTD は 2002 年の時点で 10%程度であった。
- ④ 受傷後、数時間以内の死亡に多くの PTD が含まれていると考えられている。
- ⑤ PTD を減少させるために外傷初期診療標準化プログラムが整備されてきた。

**問題 12. Primary Survey について間違っているものを選びなさい。**

- ① 第一印象の把握後、ABCDE を評価する。
- ② 診察中の急変時は A に戻って評価する。
- ③ 気道確保は頭部後屈顎先挙上させて行う。
- ④ FAST は腹腔内出血の検索に有用である。
- ⑤ ショックの早期認知が重要である。

**問題 13. 重症外傷の Primary Survey の時に行わないものを選びなさい。**

- ① 気道確保
- ② FAST
- ③ CT 検査
- ④ 背面の観察
- ⑤ 胸部・骨盤単純 X 線ポータブル撮影

**問題 14. 外傷初期診療についての文章で間違いはどれか。**

- ① primary survey の A は 気道の評価で開通の有無をみる。
- ② primary survey の B は Bleeding で出血部位を検索することである。
- ③ primary survey では蘇生の必要性を判断する目的で生理学的兆候を評価する。
- ④ secondary survey では治療を必要とする損傷を検索するために解剖学的評価をする。
- ⑤ secondary survey は受傷機転などの情報の聴取と系統的な身体診察が含まれる。

**問題 15. 外傷初期診療における FAST(Focused assessment with sonography for trauma)で見るべき部位でないものはどれか？**

- ① 心嚢液貯留
- ② 胆嚢周囲
- ③ 膀胱周囲
- ④ 脾臓周囲
- ⑤ モリソン窩

**問題 16. 骨盤骨折についての記載で誤りはどれか。**

- ① 安定型骨盤骨折は致命傷となることは多くない。
- ② 不安定型骨盤骨折は後腹膜出血をとまないやすく出血性ショックをきたす。
- ③ 骨盤骨折の初療時の確定診断は骨盤前後像の単純写真で行う。
- ④ 骨盤骨折に伴う尿道損傷は男性に多く、陰茎部に多い。
- ⑤ 部分不安定骨折や完全不安定骨折は創外固定の適応となる。

**問題 17. 日本のトリアージタグにない色はどれか？**

- ① 赤
- ② 青
- ③ 黄
- ④ 緑
- ⑤ 黒

**問題 18. START トリアージで黄色になる患者はどれか？**

- ① 呼吸回数 35 回の過換気であったが外傷はなく歩行ができた。
- ② 呼吸回数 12 回 脈拍 100bpm で従命可能 だが、大腿変形があり歩行できない。
- ③ 呼吸回数 20 回 爪床圧迫再循環時間 (CRT) 1 秒、頭部外傷があり従命が入らない。
- ④ 呼吸回数 15 回 爪床圧迫再循環時間 (CRT) 3 秒、自分の名前や日付は答えられる。
- ⑤ 胸部打撲があり、顔面蒼白。心拍数 150bpm 自分の名前や質問には答えられる。

**問題 19. 災害医療についての文章で正しいのはどれか。**

- ① 災害医療では医療資源と患者数の需給バランスが崩れている。
- ② START 法によるトリアージを医師以外は行ってはならない。
- ③ 災害現場で行われるトリアージでは重症度により分類が行われる。
- ④ 一次トリアージでは 30%程度のオーバートリアージが発生する。

- ⑤ 大災害時には航空搬送は効率が悪く役に立たない。

**問題 20. 厚生労働省により指定され災害時に派遣される医療チームはどれか**

- ① JDR (Japan Disaster Relief Team)
- ② JMAT (Japan Medical Association Team)
- ③ DMAT (Disaster Medical Assistance Team)
- ④ JMTDR (Japan Medical Team for Disaster Relief)
- ⑤ DMORT (Disaster Mortuary Operational Response Team)

**問題 21. トリアージについての文章で間違いはどれか。**

- ① トリアージにおける爪床圧迫再循環時間は2秒以内が正常である。
- ② START トリアージは一次トリアージの際に用いる。
- ③ 気道閉塞があるものは赤 (I 緊急) に区分される。
- ④ トリアージタグには個人情報記載しない
- ⑤ タグは基本的には右手につけられる。

**問題 22. Glasgow Coma Scale に関する文章で正しい組み合わせはどれか**

- a. 合計点が同じなら神経学的予後は同じである。
  - b. 呼びかけで開眼するのは E4 である。
  - c. 痛み刺激を加えながら呼びかけるとかろうじて開眼するのは E2 である。
  - d. 除皮質硬直は M3 になる。
  - e. 見当識があるのは V4 である。
- ① . a, b    ②. a, e    ③. b, c    ④. c, d    ⑤. d, e

**問題 23. Japan Coma Scale に関する文章で正しい組み合わせはどれか**

- a. 自分の名前、生年月日が言えないのは 2 である
  - b. 呼びかけると容易に開眼するのは 10 である。
  - c. 痛み刺激を加えながら呼びかけるとかろうじて開眼するのは 30 である。
  - d. 除皮質硬直は 100 になる。
  - e. 痛み刺激に対して、開眼はしないが刺激部位に手をもってくるのは 200 である。
- ① a, b    ② a, e    ③ b, c    ④ c, d    ⑤ d, e

**問題 24. 法的脳死判定の基準を満たさないものはどれか？**

- ① 深昏睡
- ② 除脳硬直
- ③ 平坦脳波

- ④ 対光反射の消失
- ⑤ 自発呼吸の消失

**問題 25. 法的脳死判定が可能な病態はどれか？**

- ① 低体温
- ② 薬物中毒
- ③ 劇症肝炎
- ④ くも膜下出血
- ⑤ 低血糖性昏睡

**問題 26. 世界最初の救急車の運用と関連が深い人物を一人選べ**

- ① 始皇帝
- ② 徳川家康
- ③ ナポレオン
- ④ ケネディ大統領
- ⑤ アレキサンダー大王

**問題 27. 日本の救急医療体制について正しいものを選べ**

- ① 初期・二次・三次・四次の段階に大別される
- ② 救急車はまず初期医療施設へ患者を搬送する
- ③ 二次救急医療施設では救急患者の入院加療が可能である。
- ④ 人口1000万人につき一箇所の救命救急センターが整備されている。
- ⑤ 軽症から重症まですべての疾患に対応するために救命救急センターは整備されている。

**問題 28. SIRS の項目に含まれる組み合わせを選択せよ。**

- a. 体温 $<36^{\circ}\text{C}$
  - b. 脈拍数 $>90$  回/分
  - c. 呼吸回数 $<15$  回/分
  - d.  $\text{WBC}<12000/\text{mm}^3$
  - e.  $\text{PaCO}_2<32\text{torr}$
- ① . a, b, c    ②. a, b, e    ③. a, d, e    ④. b, c, d    ⑤. c, d, e

**問題 29. 出血性ショックの症候でないものはどれか。**

- ① 徐脈
- ② 意識混濁
- ③ 皮膚湿潤
- ④ 四肢冷感

- ⑤ 血圧低下

**問題 30. 呼吸様式の異常に関して正しいものはどれか。**

- ① 起坐呼吸は気胸でみられる
- ② 鼻翼呼吸は過換気症候群でみられる
- ③ 上気道閉塞では失調性呼吸がみられる
- ④ 下顎呼吸は重篤な全身状態を示唆する
- ⑤ チェーンストークス呼吸は慢性呼吸器疾患患者の酸素吸入時に生じる

**問題 31. ショックに関する文章の中で間違いはどれか**

- ① 心筋梗塞は心原性ショックをおこす。
- ② 感染性ショックでは血管抵抗は低下している。
- ③ 出血性ショックは循環血液減少性ショックである。
- ④ 神経原性ショックは血液分布異常性ショックを起こす。
- ⑤ アナフィラキシーショックはⅡ型アレルギーによるショックである。

**問題 32. ショックに関する文章の中で正しいものはどれか**

- ① ショックが遷延すると尿量が減少する。
- ② ショックの患者では動脈血液中の乳酸値は低下する。
- ③ 敗血症性ショックの初期は心拍出量が低下している。
- ④ アナフィラキシーショックでは顕著な腹痛が起きる。
- ⑤ 外傷患者では激痛や驚愕などによる副交感神経の緊張により受傷直後におきる。

**問題 33. 敗血症に関する文章で間違いはどれか**

- ① 早期に抗菌薬の投与は推奨されている。
- ② 肺炎や熱傷は敗血症になると予後不良となる。
- ③ 早期の循環安定を目指した積極的輸液は推奨されている。
- ④ 敗血症性ショックに対して強心薬やステロイドを使用することは推奨されない。
- ⑤ 敗血症は感染があり SIRS（全身性炎症反応症候群）を呈している状態である。

**問題 34. 破傷風に関する文章で間違いはどれか**

- ① 土壌常在菌である。
- ② 破傷風菌はグラム陽性偏性嫌気性桿菌である。
- ③ 破傷風菌は神経毒素と溶血毒素の両方を持つ。
- ④ ペニシリン G の大量投与療法が第一選択である。
- ⑤ 運動神経に作用して強直性痙攣を起こすが、自律神経には作用しない。



**問題 35. 中毒治療で正しいものはどれか。**

- ① 一般に症状から中毒物質の原因推定は容易である。
- ② 異臭がある中毒患者は院内で徹底的に洗浄する。
- ③ 中毒患者の衣服を脱がしてはいけない。
- ④ 胃洗浄は誤嚥を起こす危険がある。
- ⑤ 胃洗浄で二次被害を招くことはない

**問題 36. 以下の状態で瞳孔が散大するものはどれか。**

- ① 橋出血
- ② 麻薬中毒
- ③ 有機リン中毒
- ④ バルビタール中毒
- ⑤ カテコラミン大量投与

**問題 37. 一酸化炭素中毒でみられないのはどれか。**

- ① チアノーゼ
- ② 意識障害
- ③ けいれん
- ④ 呼吸困難
- ⑤ 血圧低下

**問題 38. 熱中症に関する文章で間違いはどれか。**

- ① 熱射病は高温多湿の環境下での労働を行った際に発症しやすい。
- ② 熱射病では意識障害がみられる。
- ③ 熱射病は多臓器不全に陥りやすい。
- ④ 体温は40℃以上になる。
- ⑤ 横紋筋融解症が起きることはまれである。

**問題 39. 暑熱下で運動していた高校生が下肢と腹筋の痙攣を訴えて来院した。正しい処置を選べ**

- ① 氷枕
- ② 除細動
- ③ 腹部加温
- ④ 経口補水療法

- ⑤ 5%ブドウ糖液の輸液

**問題40. 偶発性低体温の症状として不適當なものはどれか？**

- ① 頻脈
- ② J波
- ③ イレウス
- ④ 意識障害
- ⑤ 心室細動

**問題41. 高二酸化炭素血症を認める慢性閉塞性肺疾患患者で意識障害をきたし得るのはどれか。**

- ① 呼吸中枢刺激薬投与
- ② 経鼻的持続陽圧呼吸療法
- ③ 気管切開による人工呼吸
- ④ 気管挿管による人工呼吸
- ⑤ フェイスマスクからの100%酸素投与

**問題42. ARDSに関する文章の中で正しいものはどれか**

- ①  $PaO_2/FiO_2 > 400\text{mmHg}$
- ② ARDSの死亡率は95%程度である。
- ③ 胸部レントゲン写真では広範なすりガラス様陰影が見られる。
- ④ ARDSの原因で最も多いのは外傷である。
- ⑤ 肺動脈楔入圧  $>18\text{mmHg}$

**問題43. 急性心不全に関する文章の中で正しいものはどれか。**

- a. 呼吸不全は左心不全で特徴的の症状である。
- b. 過剰心音（Ⅲ音、Ⅳ音）は右心不全で特徴的の症状である。
- c. 易疲労感は左心不全で特徴的の症状である。
- d. 起坐呼吸は左心不全で特徴的の症状である。
- e. 右季肋部痛は右心不全で特徴的の症状である。

- ① . a, b, c   ②. a, b, e   ③. a, d, e   ④. b, c, d   ⑤. c, d, e

**問題 4 4 . 急性冠動脈症候群 (ACS)に関する文章で誤っているのはどれか。**

- ① 虚血性突然死の原因として VF などの不整脈が考えられる。
- ② ACS のほとんどは虚血性突然死により病院到着後に死亡している。
- ③ 地域社会で救命の鎖を創設し、維持していくことは推奨される。
- ④ 公共の安全に携わる人が AED に習熟してもらうのは推奨される。
- ⑤ ACS の既往のある家族に BLS や AED の使用法を習得してもらうのは推奨される。

**問題 4 5 . 急性冠症候群について誤っているのはどれか。**

- ① CK-MB の発症極早期の診断感度は高くない。
- ② H-FABP はトロポニン T に比較して発症早期の感度は高い。
- ③ 下壁梗塞ではⅡ Ⅲ aVf の誘導で ST が上昇する。
- ④ 心電図の異常 Q 波は心筋梗塞初期から見られることが多い。
- ⑤ 心エコー検査は心筋の虚血領域を評価するのに有用である。

**問題 4 6 . 貧血への代償機序としての症候はどれか。**

- ① 浮腫
- ② 頭痛
- ③ 失神
- ④ 頻脈
- ⑤ 便秘

**問題 4 7 . チアノーゼを判定する部位で最も適切なのはどれか。**

- ① 舌
- ② 口唇
- ③ 手掌
- ④ 足底
- ⑤ 眼瞼結膜

**問題 4 8 . ピンク色で泡沫状の痰を伴うのはどれか。**

- ① 肺炎
- ② 肺がん
- ③ 肺水腫
- ④ 肺梗塞
- ⑤ 気管支喘息

**問題 49. 熱傷に関する文章で間違いはどれか。**

- ① 重症熱傷では確実な気道確保と静脈ルート確保は早期に実施する。
- ② 輸液を必要とする熱傷患者の輸液はブドウ糖をふくむ維持液輸液を実施する。
- ③ 体表面積 20%を超えるⅢ度熱傷では長時間の流水による冷却は行わない。
- ④ 顔面熱傷と意識障害があれば一酸化炭素中毒の治療も平行して開始する。
- ⑤ COHb 高値が確認されれば 100%酸素による人工呼吸を速やかに開始する。

**問題 50. 気道熱傷に関する文章で誤りはどれか。**

- ① 高温の蒸気の吸入により起きる。
- ② 口唇や顔面熱傷に合併する。
- ③ 鼻毛や眉毛がこげている所見があれば疑う。
- ④ 喉頭浮腫から気道閉塞が起きる。
- ⑤ 気道確保の第一選択は気管切開である。

**問題 51. 脳卒中に関する文章で間違いを選択せよ。**

- ① 塞栓の原因として心房細動がある。
- ② early CT sign は脳梗塞の所見である。
- ③ 寝たきり患者の約 40%は脳血管障害が原因である。
- ④ tPA は発症 3 時間以内の脳梗塞に使うことができる。
- ⑤ シンシナチ病院前脳卒中スケールには瞳孔不同も含まれる。

**問題 52. くも膜下出血についての文章で間違っているのはどれか。**

- ① ほとんどの症例は CT で確定診断できる。
- ② 重症例は昏睡や心肺停止に陥ることがある。
- ③ 髄膜刺激症状は発症早期から陽性となることが多い。
- ④ CT で診断がつかないときには腰椎穿刺による血性髄液の有無を調べる。
- ⑤ 再破裂は発症後 6 時間以内に多い

**問題 53. 植物状態患者の生命維持に最低限必要なものはどれか。**

- ① 酸素投与
- ② 経管栄養
- ③ 昇圧薬投与
- ④ 抗菌薬投与
- ⑤ 人工呼吸器管理

**問題 54.** 38 歳の男性、意識障害のために救急搬送された。本日、海でスキューバダイビングをしており水深約 30m から浮上して約 5 分後に意識を消失した。来院時には意識は清明で、顔面の腫脹、両下肢の運動麻痺と近く低下を認める。血液所見では赤血球 560 万、Hb 20.2g/dl、白血球 8800 であった。胸部 X 線、心電図には異常を認めない。

**最も適切な治療はどれか**

- ① 人工呼吸
- ② 利尿薬投与
- ③ 低体温療法
- ④ 血栓溶解療法
- ⑤ 高気圧酸素療法

**問題 55.** 38 歳の男性。朝から喉が痛いため、ヨード剤でうがいをし、市販のトローチをなめたところ次第に呼吸が苦しくなってきたという。来院時、強い呼吸困難のため呼びかけに応答できず、頸動脈の拍動をわずかに触知する。顔面にはチアノーゼが著明である。

**まず行う処置はどれか。**

- ① 気道確保
- ② 心臓マッサージ
- ③ 人工呼吸
- ④ 除細動
- ⑤ 静脈路確保

**問題 56.** 58 歳の男性。会議で発言中に突然倒れ、救急車で搬入された。同僚が心肺蘇生を施行したが、7 分後救急隊到着時には心肺停止状態であった。ラリングアルマスクで気道確保され、バッグによる人工呼吸と心臓マッサージを施行され、用手換気で良好な胸郭の動きが確認される。心電図モニターでは心静止である。右前腕静脈に静脈路を確保した。

**この時点で標準的に用いられ薬剤はどれか。**

- ① リドカイン
- ② アドレナリン
- ③ プロカインアミド
- ④ ノルアドレナリン
- ⑤ イソプロテレノール

**問題 57.** 1歳男児が殿部の熱傷で深夜1時に救急受診した。全身に新旧様々な打撲痕を認め、全身のレントゲンで上腕骨に古いらせん状骨折のあとがみられる。**当直医師の対応として適切なのはどれか？1つ選べ。**

- ① 一旦帰宅させて、翌日あらためて受診してもらう。
- ② 保健所に連絡する。
- ③ 親との関わりは避ける。
- ④ 虐待の有無を両親に詰問する
- ⑥ 児童相談所へ通告する。

**問題 58.** 2歳の男児。4時間前に紙巻タバコを約1cm誤飲したため来院した。症状はない。

**最も適切な対応はどれか。**

- ① 胃洗浄を行う。
- ② 水を飲ませる。
- ③ 牛乳を飲ませる。
- ④ 緩下剤を投与する。
- ⑤ 無処置で観察する。

**問題 59.** 2歳の女児。ボタン型電池を誤飲し来院した。頸胸部エックス線単純写真で食道入口部に電池が停留しているのを確認した。**最も適切な処置はどれか。**

- ① 経鼻栄養チューブ挿入
- ② 内視鏡下摘出
- ③ 頸部切開手術
- ④ 気管切開
- ⑤ 経過観察

**問題 60.** 29歳女性。電車から降りた直後のホームで、突然胸痛と呼吸困難とを訴えて動けなくなり救急搬送された。意識は清明。身長159cm、体重81kg。呼吸数32/分、脈拍106bpm、整。血圧98/76mmHg。顔面蒼白で苦悶状である。

**診断のために直ちに行うべき検査ではないのはどれか。**

- ① 心電図
- ② 胸部造影CT
- ③ 呼吸機能検査
- ④ 動脈血ガス分析
- ⑤ 血中D-Dimerの測定

**問題 61.** 46歳の女性。入眠前に自殺目的でアセトアミノフェンと睡眠薬を大量に服用した。翌朝家人が発見し、意識障害のため救急車で搬入された。血圧 125/68 mmHg、脈拍 60 回/分、SpO<sub>2</sub> 98%、呼吸回数 9 回/分、体温 36.1 度、JCS 100 であった。対応として適切な組み合わせはどれか

- a. 酸素投与
- b. 胃洗浄
- c. PAM 投与
- d. 亜硝酸アミル吸入
- e. アセチルシステインの投与

① a, b ② a, e ③ b, c ④ c, d ⑤ d, e

**問題 62.** 38歳の男性。草刈をしていたところスズメバチに頸部と前腕を刺されて来院した。局所の痛みと腫脹を訴えていたが気分悪いといってしゃがみ込んでしまった。可能性が低い症状はどれか。

- ① 意識障害
- ② 呼吸困難
- ③ 血圧上昇
- ④ 頻脈
- ⑤ 皮疹

**問題 63.** 40歳の男性。仕事中、大量吐血して搬入された。意識は清明。体温 36.1℃。脈拍 120/分、整。血圧 76/50mmHg。顔面蒼白。腹部は平坦、軟。上腹部に圧痛を認めるが、筋性防御は認めない。血液所見：赤血球 260 万、Hb 8.4g/dl、Ht 26%、白血球 12,000、血小板 23 万。対応として適切でないのはどれか。

- ① 酸素投与
- ② 静脈路確保
- ③ 尿カテーテル挿入
- ④ 上部消化管造影
- ⑤ 上部消化管内視鏡

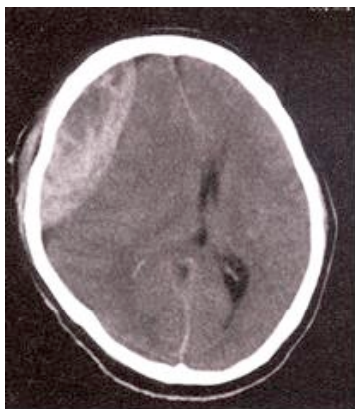
63 歳男性、自転車運転中に乗用車と接触し、頭部をフロントガラスにぶつけ救急搬送となった。血圧:160/96、脈拍:48、SpO2:98%であった。痛み刺激にも開眼せず、発語も認めない。手足は異常伸展している。瞳孔は右 6mm、4mm であった。

**問題 64. この患者について誤っているものを選べ。**

- ① GCS は 4 点である。
- ② Secondary survey において最初に頭部 CT を施行する。
- ③ 脳ヘルニアを起こしている可能性が高い。
- ④ 点滴を大量投与し、下肢を挙上する。
- ⑤ 頸椎保護に注意しながら診療を行う。

**問題 65. この患者の Secondary Survey で撮影した CT 画像を参照して以下の文章で正しいものを選択せよ。**

- a 急性硬膜外血腫である。
- b 急性硬膜下血腫である。
- c 呼吸パターンは正常である。
- d 瞳孔は正円同大で対光反射は両側迅速であった。
- e 受傷直後は意識が清明であったが次第に低下して昏睡になった。



- ① . a, b
- ②. a, e
- ③. b, c
- ④. c, d
- ⑤. d, e

**問題 66. この患者に対して治療中に、二次性脳損傷の原因とならないものはどれか。**

- ① 低血圧
- ② 低体温
- ③ 低酸素血症
- ④ 発熱
- ⑤ 貧血



21 歳の男性。交通外傷のため救急乗用車で搬入された。オートバイ運転中に乗用車と接触し転倒した。意識障害はない。呼吸数 30 回／分。脈拍 120／分、整。血圧 80／64mmHg。右側胸部に打撲痕と皮下気腫を認める。右肺の呼吸音は減弱している。腹部に擦過傷を認めるが圧痛や膨隆はない。骨盤・四肢の変形、腫脹および運動麻痺はない。

**問題 67. この患者で見られないと思われる所見はどれか**

- ① 四肢冷感
- ② 呼吸困難
- ③ 気管偏位
- ④ 頸静脈怒張
- ⑤ バビンスキー反射

**問題 68. この患者の血圧の低下の原因として考えられるのはどれか。**

- ① 頸髄損傷
- ② 緊張性気胸
- ③ 胸腔内出血
- ④ 腹腔内出血
- ⑤ 消化管穿孔

**問題 69. この患者はショックの原因分類としてはどれが当てはまるか。**

- ① 循環血液減少性ショック
- ② 血流分布異常性ショック
- ③ 神経原性ショック
- ④ 心原性ショック
- ⑤ 閉塞性ショック

45 歳男性、歩行中に左からきた乗用車にはねられ救急搬送となった。バイタルは SpO<sub>2</sub>:100%、血圧:80/60、脈拍:140 で意識は混濁している。身体所見では左腰部に打撲痕があり、大腿に変形を認める。骨盤部の用手的圧迫にて激しい疼痛が誘発される。外尿道口からは鮮血の出血を認める。

**問題 70.** この患者の Primary Survey において行うべき検査でないものはどれか

- ① FAST
- ② 頭部 CT
- ③ 胸部 X 線
- ④ 骨盤 X 線
- ⑤ モニター心電図

**問題 71.** この患者の Primary Survey において優先される処置として過っているものを選べ。

- ① 急速輸液を行う。
- ② マスクで酸素投与する。
- ③ 尿道カテーテルを挿入する。
- ④ TAE(経カテーテル動脈塞栓術)にて両側内腸骨動脈を塞栓する。
- ⑤ シーツラッピングや創外固定を用いて骨盤を固定する。

**問題 72.** この患者が、来院 12 時間後に突然呼吸困難を訴え、チアノーゼ、意識障害をきたした。皮膚には点状出血を認める。もっとも可能性の高い病態はどれか

- ① 心筋梗塞
- ② 脂肪塞栓
- ③ 腹腔内出血
- ④ 心タンポナーデ
- ⑤ コンパートメント症候群

60 歳男性。ある冬の日、会社の帰りに大量に飲酒し、自宅に帰ろうとしたところ、用水の中に転倒し、濡れたまま 2 時間ほど中に倒れていたところを通行人に発見され、救急搬送となった。搬送時のバイタルは血圧 102/65 mmHg、脈拍 40 回/分、SpO<sub>2</sub> 92%、呼吸回数 9 回/分、直腸温 33.1 度、JCS 20 であった。顔面と両膝に擦過傷、右側腹部と左肩に打撲痕を認めた。

**問題 73. この患者への対応として適切なものはどれか？**

- ① 衣服を脱がし毛布で保温を開始する。
- ② SpO<sub>2</sub> が良好であり、酸素投与は行わない。
- ③ 急性アルコール中毒に対して胃洗浄を行う。
- ④ レントゲン等の外傷の精査は完全に意識が戻ってから行う。
- ⑤ 胸骨圧迫から蘇生を開始する。

58 歳男性。炎天下の路上で倒れているところを発見され救急搬送された。来院時の観察所見：意識レベル JCS 100。呼吸数 10 回/分。脈拍 60 回/分、整。血圧 184/96mmHg。体温 37.5 度、発汗はない。顔面紅潮。瞳孔右 5mm、左 2mm。右対光反射減弱。左の片麻痺を認める。既往歴として糖尿病でインスリンの自己注射をしている。

**問題 74. この患者に対してまず行うべきことはどれか？**

- ① 氷枕での冷却
- ② ブドウ糖液投与
- ③ 血糖値測定
- ④ 脳波測定
- ⑤ 頭部 MRI

**問題 75. この患者に輸液路を確保する場合の第一選択となる静脈はどれか**

- ① 内頸静脈
- ② 外頸静脈
- ③ 大腿静脈
- ④ 鎖骨下静脈
- ⑤ 橈側皮静脈

72 歳女性、1 週間前からの腰痛に対して NSAIDs を内服中、3 時間前より嘔気を伴う、心窩部の不快感とふらつきを自覚した。冷や汗がでており症状が改善しないため家族に連れられて救急外来を受診した。

**問題 76. この患者で、もっとも緊急性を示唆する症状は何か**

- ① 1 週間続く腰痛
- ② 心窩部不快感
- ③ ふらつき
- ④ 冷や汗
- ⑤ 嘔気

**問題 77. まず最初に行うべき処置でないものはどれか**

- ① 安静臥床
- ② 酸素投与
- ③ 胃管挿入
- ④ 静脈路確保
- ⑤ モニター装着

**問題 78. まず最初に行うべき検査はどれか**

- ① 上部消化器内視鏡
- ② 腹部 CT 撮影
- ③ 腰椎穿刺
- ④ 胸部 X 線
- ⑤ ECG

47 歳女性。乳房の腫瘍に気づいたので来院した。

現病歴：昨日、入浴後に右乳房に腫瘍を触知した。既往歴：特記事項なし。現症：意識清明。身長 155 cm、体重 53 kg。体温 36.7°C。脈拍 72 /分、整。血圧 120/70 mmHg。眼瞼結膜に異常を認めない。頸部に血管雑音はない。心雑音はない。右乳房上外側に辺縁が不整な 2 cm 大の腫瘍を触知する。乳癌の可能性を示唆したところ、顔面蒼白になり意識消失し、崩れ落ちるように倒れた。呼びかけに反応しない。

**問題 79. 気道確保とバイタルサインの確認をしながら、次にすべきことはどれか。**

- ① 人を呼ぶ。
- ② 担架を探しに行く。
- ③ 静脈路を確保する。
- ④ 人工呼吸を開始する。
- ⑤ 心臓マッサージを開始する。

**問題 80. 患者がまもなく意識が回復した。脈拍 80 /分、整。血圧 130/80 mmHg。外傷はなく、神経学的にも異常を認めない。意識消失のエピソードに対して、次にすべきことはどれか。**

- ① 脳波
- ② 経過観察
- ③ 胸部 X 線撮影
- ④ 頭部単純 CT
- ⑤ 24 時間連続心電図